

## link要素、style要素のmedia属性

メディアグループ	HTML 4.01	CSS2	CSS 2.1	説明
all	○	○	○	すべてのデバイス
aural	○	○	△	音声出力（CSS 2.1では、CSS3 Speech Module <sup>*2</sup> のために speech メディアグループが予約され、aural メディアグループは非推奨とされている）
braille	○	○	○	点字ディスプレイ
embossed	×	○	○	点字ページプリンタ（HTML 4.01では未定義）
handheld	○	○	○	ポータブル機器（スクリーンが小さなデバイスや、周波帯域に制限があるものを指す）
print	○	○	○	プリンタ
projection	○	○	○	プロジェクタ
screen	○	○	○	一般的なコンピュータ画面
speech	×	×	○	音声出力（HTML 4.01 および CSS2 での aural に相当。Aural style sheets <sup>*3</sup> の項を参照のこと）
tty	○	○	○	固定ピッチ文字を使用するデバイス。tty メディアグループにおいては、px による指定を行うべきではない
tv	○	○	○	テレビ

たとえば、点字プリンタを表す embossed は HTML 4.01 では定義されていませんし、音声出力を表す aural は CSS 2.1 では非推奨と、いくつかの違いがあります。ただし、CSS 2.1 は現時点ではまだ勧告候補なので、音声出力を表す場合は aural, speech のように併用しましょう。将来 CSS 2.1 あるいは CSS3 が勧告となったときに、speech に改めることになることでしょう。

これらのメディアグループは、あるスタイルシートに対して一括して指定することもできますし、スタイルシート内で規則集合ごとに指定することもできます。その使い分けを考えてみましょう。

まず、あるスタイルシート全体に対してメディアグループを指定する場合は (X) HTML 側の指定で行います。外部スタイルシートの指定の場合は link 要素の media 属性、style 要素による指定の場合は style 要素の media 属性で指定します。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja" xml:lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
<link rel="stylesheet" href="fixed.css" type="text/css"
  media="screen, tv" charset="UTF-8" />
<!-- ↑視覚ブラウザ向けのCSSを読み込む -->

```

XHTML

次ページに続く ▶▶▶